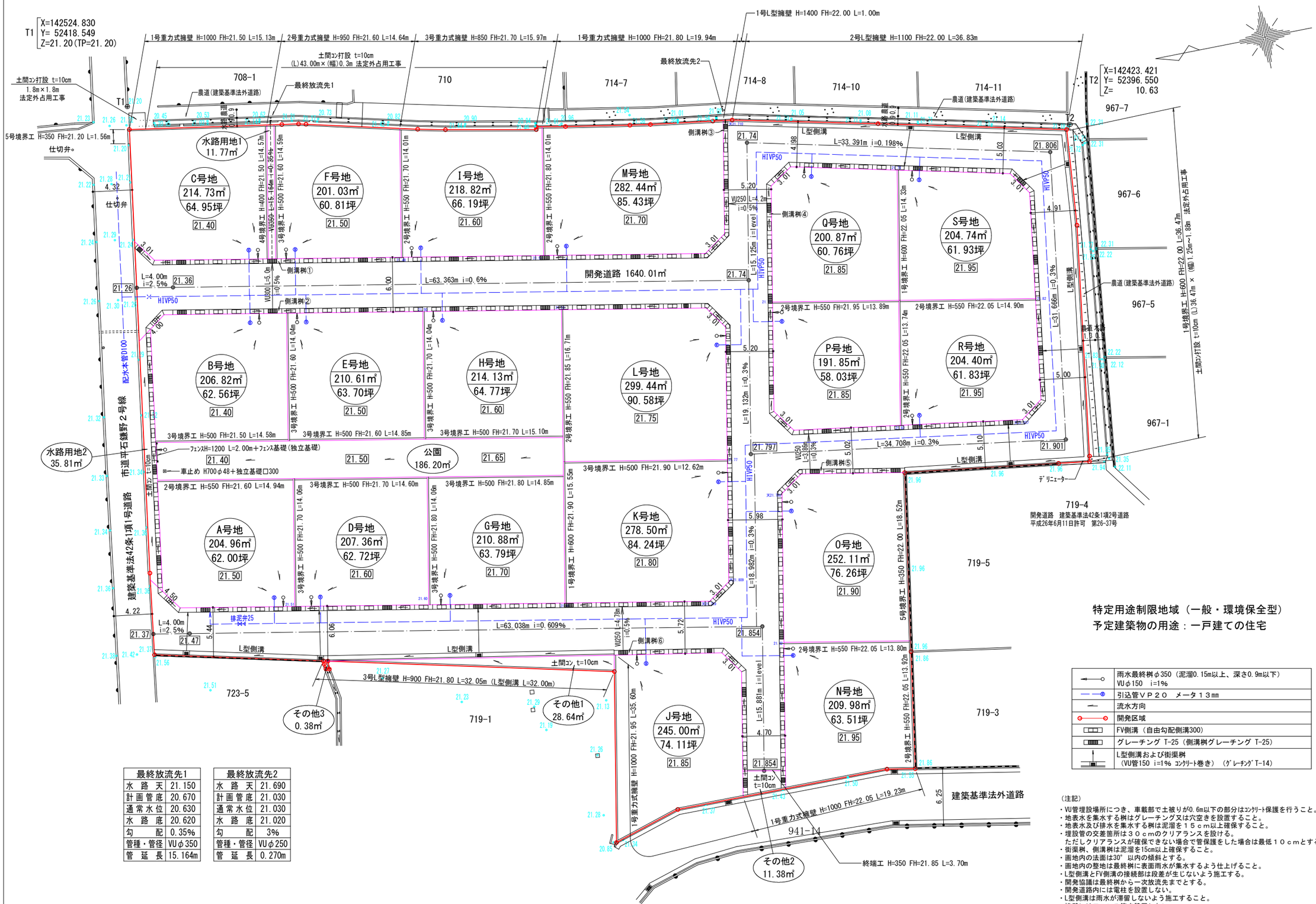
土地の所在	高松市三谷町字大満東718、719-7、721-1、721-2、722-1、723-1及び地先農道・水路

土　地　利　用　計　画　図



最終放流先1	
水　路　天	21.150
計画管底	20.670
通常水位	20.630
水　路　底	20.620
勾　　配	0.35%
管種・管径	VUφ350
管　延　長	15.164m

最終放流先2	
水　路　天	21.690
計画管底	21.030
通常水位	21.030
水　路　底	21.020
勾　　配	3%
管種・管径	VUφ250
管　延　長	0.270m

雨水最終桝φ350（泥溜0.15m以上、深さ0.9m以下）VUφ150　i=1%	
引込管ＶＰ２０　メータ１３㎜	
流水方向	
開発区域	
FV側溝（自由勾配側溝300）	
グレーチング T-25（側溝桝グレーチング T-25）	
L型側溝および街渠桝（VU管150 i=1% ｺﾝｸﾘｰﾄ巻き）（ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞT-14）	

特定用途制限地域（一般・環境保全型）
予定建築物の用途：一戸建ての住宅

（注記）
- VU管埋設場所につき、車載部で土被りが0.6m以下の部分はｺﾝｸﾘｰﾄ保護を行うこと。
- 地表水を集水する桝はグレーチング又は穴空きを設置すること。
- 地表水及び排水を集水する桝は泥溜を１５ｃｍ以上確保すること。
- 埋設管の交差箇所は３０ｃｍのクリアランスを設ける。ただしクリアランスが確保できない場合で管保護をした場合は最低１０ｃｍとする。
- 街渠桝、側溝桝は泥溜を15cm以上確保すること。
- 画地内の法面は30°以内の傾斜とする。
- 画地内の整地は最終桝に表面雨水が集水するよう仕上げること。
- L型側溝とFV側溝の接続部は段差が生じないよう施工する。
- 開発協議は最終桝から一次放流先までとする。
- 開発道路内には電柱を設置しない。
- L型側溝は雨水が滞留しないよう施工すること。
- 擁壁にはフェンス等を設置しない。
- 家庭用汚水は合併浄化槽を経由し宅内桝を経て放流する。
- 開発区域界に構造物が無い箇所については鋲表示をする。

縮　　尺	1／４００

開発許可
年月日

第　　号

令和　年　月　日

申請者

株式会社アルファード２
代表取締役　七條恵美

作成者
住所・氏名

高松市伏石町二七四番地一五
行政書士　松澤人史　㊞